



六桜花



令和3年度 第9号

初島小学校 学校通信

令和3年 8月24日

文責 植村 由香

「2学期始業式」

始業式にあたり、たくましく心豊かな子どもたちに育てほしいとの思いから次のような話をしました。

～～（前略）～～

さて、この夏休み中の大きな出来事と言えば、東京オリンピックが開催されたことですね。日本は金メダルを27個もとり、銀や銅を合わせても過去最高でした。すごいですね。

50もの競技があり、テレビで観戦した人も多いと思います。何か考えること、感じることはありましたか？私も、色んな競技を観たのですが、勉強になることがたくさんありました。

まず、柔道の金メダリスト 阿部詩選手は自分を「とても負けず嫌い」だと言っていました。今まで試合で負けたら、次の試合で勝つためにどんなにつらく長時間の練習でも歯を食いしばって頑張ったそうです。また、13年ぶりに金メダルを取ったソフトボールの上野投手は「投げられなくなるまで絶対投げてやろうと思って投げた」と振り返っていました。スポーツで世界一になると言うことは才能もあるだろうけど、「何が何でも勝つてやる」という強い気持ち、すなわち「負けず嫌い」な性格は必要でしょう。**努力は結果に出る**のだと納得しました。



公民館で貯金箱作り



次に、選手たちの「感謝の心」です。金メダルを取ったら、今までの苦労が実ったわけですから、自分を自分で褒めたいだろうし、最高の気分になるでしょう。しかし、（これは勝っても負けてもですが）、必ず家族やサポートをしてくれた周りの人たちへの感謝の気持ちを言っていました。「**支えられて今の自分がある**」という素直な気持ちがとてもすがすがしかったです。

さらに、アーチェリーの古川選手は、高校へ入学するとき弓道部に入りたかったのに、その高校にはアーチェリー部しかなかったのでアーチェリーを始めたそうです。そして、銅メダルをとりましたね。これは、出会いの大切さを物語っているなと思いました。みなさんも、色々なことに興味を持って試してみても、「これだ」と思ったことは納得のいくまで続けてみましょう。「しんどいから嫌だな」とか「やめたいな」と思っても続けていたら、きっと自分にとって良いこと、プラスなことがあると思います。



「とまれ足型マーク」作業

スポーツにはルールがあり、必ず勝ち負けがあるものですが、こうして選手の汗や涙は私たちにたくさんのお話を教えてくれますね。

ところで、もう一つの大きな事と言えば「新型コロナウイルスの感染状況」ですね。今までに無く、多くの日本人がかかっています。みなさんは、マスクをきちんとつけるだとか、三密を避けるだとかはもうずい分と出来ていますね。これからも守ってください。



そして、去年から「心1つに」というスローガンを掲げて全校で取り組んでいますね。「心をひとつにしてコロナに打ち勝とう」と言うことは、かからない努力をすることと、もしかかった人がいたら、うわさ話をしたり仲間はずれにしないということですね。自分がもし病気になって、仲間はずれなどにあつたらとても悲しい思いをします。**自分がされて嫌なことは人にしてはいけません。**



この病気は、いつ誰がかかってもおかしくない病気です。

自分も守れるし、友達や周りの人も守れる「強い心の持ち主」になってください。 ～～～

保護者の皆様へお願い（「新型コロナウイルス感染症への対応について」4月9日配布プリントより一部抜粋）

- ・毎朝、ご家庭でお子さんの健康観察を行い、その結果を「健康チェック表」に記入してお子さんに持たせてください。**発熱などのかぜの症状がある場合は、登校させないで、まずは、かかりつけ医などの身近な病院に、電話で相談してください。**
- ・学校で発熱などの症状が出た場合は、連絡しますので、おむかえをお願いします。
- ・**お子さんや家族の方がPCR検査や抗原検査を受けたり、濃厚接触者になったりしたときは、校長へご連絡ください。**
- ・登校させることで感染するかもしれないなど、心配なことがありましたら、学校へご相談ください。

